

たんぽぽ

第106号 兵庫県養父市堀82番地の28
森 医 院
TEL 079-665-0223 FAX 079-665-0635
http://www2.ocn.ne.jp/~moriin/
月刊発行 e-mail mori-clinic@fureai-net.tv

たんぽぽ 2012 新春号

震災で犠牲になられた2万人の方々の命に思いを馳せ、そのご家族にお悔やみを申し上げよう。犠牲になられた方々とそのご家族、放射能汚染・地震・津波でいまだに自宅に帰れない方々に対し国民一人一人がその苦しみを分かち合えるよう日本でありたいと願います。

困難な時代、新年を迎えてもお祝いをする気にもう一つはせませんが、私が小さいころは早く大人になりたいと首を長くして新年を待ったものです。

何と云ってもクリスマスに続くお正月が楽しみでした。もう、いくつ歳とお正月・・・。新年を迎えると3日間父・母・姉弟たちと花札や雀民ゲームというトランプ遊びに夜遅くまで興じた。8人兄弟の7番目にいた私は、既に成人していた上6人全員からたくさんのお年玉をいただいた。その使い道は今もまだ秘蔵しているが、あの時のゆくりと過ぎ去っていった時間が懐かしい。それに引き換え還暦を過ぎたこの頃は1年があとにも早く過ぎていき、もう体と頭がついていけない。

東日本大震災、原発炉心融解、超円高、海外ではアラブの春、ユーロ危機、人の命をもたせぬ独裁者の死、その跡継ぎも息をのむ危うさで気が抜けない。そしてロシアからも独裁を拒む市民の声も聞こえだし、年を越して大きなウネリとなり、目が離せない。昨年1年で10年分いや100年分の激動の時代。金融経済・工業化・生命科学・IT等の分野でもその変化が急である。そんな中、

「どこに行く? 今年の世界の経済危機は向かうのか? さらに大きな震災が待っているのか? 富士山の地下数十キロに巨大マagma溜まりを予測させる大きなエネルギー蓄積が観察され、地震国といわれる日本では地域を問わず大災害への備えが必要である。

今後数十年にわたって日本を悩ませることになる放射能汚染について。東電は、はじめ認めようとしなかったが原発炉心融解はやはり起きていた。2011年12月末、国民に何かれて「冷温停止状態」と宣言しているが実際に炉心がどうなっているかわからない。原子炉圧力容器底部の温度が

100℃以下であるというだけで、底の抜けた容器から核燃料はさらに外側の構造物に流れ落ちているのではないかと。原子炉内の核燃料と使用済み核燃料の大部分が大気中に飛散した結果の「冷温停止」ではないか? 降下した放射性物質は関東にとどまらず関西、四国、九州、沖縄まで拡散している。今後どのような放射能障害が起きるかは何と想像することも恐ろしい。経産省で受ける放射線被曝量は自然界から受ける放射線量(10μSv)より多い。森医院の胸部Xpが0.03mSv(=30μSv)。1回0.02秒で50回撮影しても1秒の被曝時間。胸部単回検査は間接撮影のため0.3mSvとやや多い。胸部CTは胸部単純Xpの約1000倍といわれている。飛行機で1回海外旅行すると200μSv。しかし使用済み核燃料の大部分を占めるセシウムの半減期は約30年、エヤ岩石、コンクリート、瓦などにくっつき離れることはほぼ長期に放射し続ける。そこから放出される放射能の低線量被曝が何十年も続くと考えればチェルノブイリとは比較できないほど人に対する影響は深刻である。この上、巨大災害などで深刻な原発事故が複数発生するとこの小さい日本には任せきれない。故郷を捨て1億の国民が海外に移住しなければならなくなるという最悪のシナリオは「悪い初夢」だけで終わらせていい。

リハビリ室のご案内 Part 2

今回は、ベッド型マッサージ器「ウォーターベッド」とご紹介しよう。

約30度に保たれた水は、ベッドに横になり、ベッド表面から噴射される水圧を利用して全身マッサージを行います。血行の改善により筋肉のコリほぐし、腰痛や肩こり等、さまざまな疾患に治療効果が期待できます。

2台のうち一台はメロディが流れ心身ともに心地良い気分が味わえるので、当院のリハビリの中でも人気の1つです。



テレホンサービス

電話料無料 0120-979-451
(携帯電話からはご利用いただけません)

【1月のテーマ】

- 月曜日 親子の性教育
- 火曜日 「海外の歯科技工物」問題って何?
- 水曜日 家庭血圧測定的重要性
- 木曜日 下肢静脈瘤のはなし
- 金・土・日 高齢者の肺炎

【2月のテーマ】

- 月曜日 緑内障のはなし
- 火曜日 入れ歯は寝る時にどうしていますか?
- 水曜日 手足のふるえでパーキンソン病を疑うとき
- 木曜日 アレルギー性鼻炎
- 金・土・日 褥瘡(床ずれ)の予防と最近の治療

※ 祝日は前日の放送が流れます。
http://www.hhk.jp/ (過去の放送分も掲載しています)

変わりつつある胃がん検診



今、一般的な胃がん検診の多くは胃透視(バリウム)検査です。この検査は胃粘膜の凹凸から胃の状態を推測する検査なので、胃がんの早期発見は困難であると共に放射線による被曝も多いため問題となっています。

そこで近年、新しい検診方法が注目されています。これは「ABC検診」と言われ、ヘリコバクテラ・ピロリ菌検査との組合せにより、胃がん発生の危険度を判定する方法です。ただしヘリコバクテラ検査は今の所、保険適応になっていないので健康診断で行われます。現在、養父市においてもこの「ABC検診」を検討中です。

「ヘリコバクテラ検査」



血液検査でわかり、陰性(-)と陽性(+)で示されます。ヘリコバクテラとは、胃の細胞から分泌される消化酵素ペプシンの元になる物質で、胃粘膜の状態により生産能力は変化します。胃粘膜の萎縮程度が強いほど陽性判定となり胃がんになるリスクが高まります。

「ヘリコバクテラ・ピロリ菌検査」



ヘリコバクテラ・ピロリ菌は、ヒトなどの胃に生息し、持続感染することにより慢性胃炎や胃潰瘍・十二指腸潰瘍を発生しやすく、胃がんの発生頻度も高くなります。ヘリコバクテラ・ピロリ菌感染診断には6種の検査方法(①血液②便③呼吸・胃粘膜細胞検査④ウレアゼ⑤頭鏡⑥培養)があります。

「ABC検診の分類」

		ヘリコバクテラ・ピロリ菌	
		陰性(-)	陽性(+)
ヘリコバクテラ検査	陰性(-)	A 41%	B 91%
	陽性(+)	D 41%	C 41%



ヘリコバクテラ検査とピロリ菌検査の結果をもとに表のように分類されます。

A: 胃の病気になる危険性は低いと考えられます。5年に1回、胃内視鏡検査をお勧めします。



B: 胃がん発症のリスクあり。胃潰瘍・十二指腸潰瘍などに注意。
2~3年に1回、胃内視鏡検査を受けましょう。

C: 胃がん発症のリスクが高い。
1~2年に1回、胃内視鏡検査を受けましょう。

D: 胃がん発症のリスクが極めて高い。
1年に1回、胃内視鏡検査が必要ですよ。

※ Dタイプはピロリ菌が陰性(-)なので、Cタイプよりも状態が良いように思ってしまうことがあります。しかし、Dタイプはピロリ菌が住めなくなるほど胃の状態が悪く、胃粘膜が完全に萎縮しているため陰性(-)となっています。

「ABC検診」でC・Dの判定がでたら早目に胃内視鏡検査が出来る医療機関を受診しましょう。

当院では、胃内視鏡検査でヘリコバクテラ・ピロリ菌の感染が疑われる場合、偽陽性である確率が低く感度に優れ、信頼度の高い「糞便中抗原検査(排便による検査)」を行います。

検査の結果、ヘリコバクテラ・ピロリ菌陽性(+)がでたら、除菌治療薬を7日間服用します。そして除菌終了後4週間以降に「尿素呼吸試験(検査薬を服用し、呼吸に調べる)」にてヘリコバクテラ・ピロリ菌の有無を確認します。

まずは定期的に検査を受けることが大切です。胃内視鏡検査を受けておくとおっしゃる方は、一度ご相談ください。

現在は鼻から管を入れる経鼻内視鏡検査なので、口からと比べ楽に受けることができます。

(検査は火・金曜日の午後、予約にて行なっています。)



☆最新型の超音波(エコー)

装置を導入しました ☺



心臓エコーをはじめとした多彩な機能を備え、高い透過性によってより鮮明な画像を見る事が出来ます。開院してから4代目となるこの装置は、心臓の病態把握の他、甲状腺・乳腺・腹部の病変、前立腺の肥大、頸動脈や下肢静脈血栓の発見など、幅広く活躍しています。

編集後記



本年も心構えを新たに、患者様お一人お一人の心の込められた対応を心がけ職員一同診療にのぞいてまいりたいと思っております。今年もよろしくお願ひ申し上げます。